

D-2 交流大会
5年生以下 及び 3年生以下 交流大会

大会要項（事務局案）

1. 目的
- ★ 普段公式試合に出場できない子どもにも試合を楽しんでもらう。
 - ★ 少人数で活動している子ども達に試合の経験をさせる。
 - ★ 公式ルールを適用せず、本大会独自の特別ルールにより、相手チームより少ない人数でも「勝てる」喜びを味わってもらう。
 - ★ ドッジボールの普及と、子ども達の心身の健全育成 及び 子ども達や保護者の交流を深める。
2. 主催
- 新潟県ドッジボール協会
3. 開催日時
- 平成30年9月17日(月・祝) 午前9時(予定)～午後5時(予定)
4. 会場
- 三条市下田体育館 三条市大字笹岡77 TEL 0256-46-4702
5. 募集チーム数
- | | | |
|-----------|------|----------------|
| <D-2の部> | 新潟県内 | 8チーム前後を目安とします。 |
| <5年生以下の部> | 新潟県内 | 8チーム前後を目安とします。 |
| <3年生以下の部> | 新潟県内 | 8チーム前後を目安とします。 |
6. チーム構成
- <D-2の部>**
小学1年生～6年生の3名以上12名以下で構成し、一般財団法人日本ドッジボール協会に平成30年9月17日現在、未登録のチーム。
※男子のみ、女子のみ、混合 問わず。ただし、1年生～3年生で構成するチームは不可。
- <5年生以下の部>**
一般財団法人日本ドッジボール協会に平成30年度D-1・D-1G登録の有無にかかわらず、小学1年生～5年生の3名以上12名以下で構成するチーム。
※男子のみ、女子のみ、混合 問わず。ただし、1年生～3年生で構成するチームは不可。
- <3年生以下の部>**
小学1年生～3年生の3名以上12名以下で構成するチーム
※男子のみ、女子のみ、混合 問わず。ただし、1年生のみで構成するチームは不可。2年生、3年生のみで構成するチームは可。（3年生は、JDBA選手登録の有無は問わない。）
- <各部門の共通事項>**
- ①単一チームメンバー、複合チームメンバー どちらでも可。
 - ②各部門、選手を兼ねてもよいこととする。
 - ※③1団体より複数チームを出場させる場合は、大会の目的を踏まえ、同程度のレベルになるようにご配慮してください。
 - ④チーム役員（指導者など）は5名までベンチに入ることができます。ただし、その内1名以上は必ず成人であることとします。

7. 競技規則
- <D-2の部 及び 5年生以下の部>**
- ①コート大きさは小学生オフィシャルサイズとします。
②ボールは、公式3号球を使用します。
- <3年生以下の部>**
- ①コート大きさは小学生オフィシャルサイズとします。
②ボールは、公式2号球を使用します。
- <各部門の共通事項>**
- ①JDBA日本ドッジボール協会公式ルール、大会要項及び本大会競技規則により行います。
②**試合は3名以上～8名以下で行います。**
8. 競技方法
- ※参加チーム数により対戦方法や組合せは当協会決定します。
10. 参加費 等
- 1チーム 3,000円
※チームで平成30年度のスポーツ安全保険に加入してください。
11. 申込み方法
- 申込は、参加申込書に必要事項を記入の上、
e-mailによる申し込みとします。
12. 申込み締切り
- 平成30年8月23日(木)
13. その他
- ★ビブス(ゼッケン)を所持されているチームは自参・着用してください。(JDBA規定のユニフォーム可)
※所持されていないチームは、協会の物を使用させていただきます。
★プラカードを所持されているチームは自参してください。
※プラカードはなくてもかまいません。
★上位チームを表彰します。
★大会の詳細は、プログラムにより確認ください。
★各部門各チーム毎に、帯同審判員1名以上のご協力をお願いします。
(申込書に氏名を記載ください。)
★チーム内に審判員資格者が**在籍していない場合**は、申込書に「有資格者なし」と記載ください。
※「資格者はいるが、大会には協力できない」という意味ではない。
14. 申込み先
- 新潟県ドッジボール協会 事務局 西潟 文夫
〒955-0022 三条市上保内乙512-6
TEL/FAX 186-0256-38-6270
PC mail: honaikids_nishi@yahoo.co.jp
- 問い合わせ先
- 新潟県ドッジボール協会 競技委員長 西潟 美知子
携帯: 090-5779-4988

★人数違いの対戦における勝敗決定方法についての発送の転換

公式戦以外の大会では、場合によっては規定人数に達しなくても交流や試合の経験という意味において試合しているのが現状です。その結果として、ほとんどの場合、「人数が少ないから当然負ける。」とってしまうのが現実だと思います。「人数が少なくても、勝てる。」という「勝利した時の喜び」を味わってもらうことも子供の成長には大切なことだと思います。

そこで、試合終了時の外野人数による勝敗とも考えましたが、試合終了時、逆に人数が多いチームが不利になる場合があります。

以上より、通常概念にとらわれず、勝敗の決定方法について以下のように発送の転換をしてみました。

1. 勝敗について

試合開始時の人数が異なるため、人数が少ないチームが当然不利になるため、今大会は次のようにして順位を決する。

<予選リーグ>

- ① 5分間の間で、アウトを取られた回数で勝敗を決する。
(アウトを取られた回数が少ないチームを勝ちとする。)
試合開始時及び終了時には、外野及び内野に1名以上がいること。
アウトになった選手は外野に移動か否かはチームの作戦とし、アウトになった選手は、そのまま内野にてプレイに参加できる。
- ② 試合終了時、アウトを取られた回数と同じ場合は引き分けとする。
- ③-1 予選リーグでは、勝ち点制を採用し、上記①での勝者は2点、敗者は0点とする。
上記②の引き分けの場合は、1点とする。
リーグ終了時、勝ち点の多いチームを上位とする。
- ③-2 ③-1で順位が決しない場合は、リーグの全試合が終了時、アウトを取られた合計回数が少ないチームを上位とする。
- ③-3 ③-2で順位が決しない場合は、直接対決の勝者を上位とする。
- ③-4 ③-3で順位が決しない場合は、リーグの全試合が終了時、相手のアウトを取られた回数の合計が多いチームを上位とする。
- ③-5 ③-4でも順位が決しない場合は、5分1セットマッチ、ランニングタイム制の試合を行う。

<トーナメント>

- ④ 上記①によって勝敗を決する。
試合終了時、アウトを取られた回数と同じ場合は、サドンデスゲームを行い、最初にアウトを取られたチームを敗者とする。

2. その他の競技規則について

- ① ダブルタッチルールは適用する。
※アウトをとられた選手はボールを拾い上げ、投球してはならない。
その他ダブルタッチのファールの適用は、一般財団法人
日本ドッジボール協会競技規則に準ずる。
- ② その他のルールは一般財団法人日本ドッジボール協会2017-2018
競技規則を適用する。

